

# 平成27年度 景気動向調査

## ●調査目的

留萌地域においては、商業・サービス業・建設業・水産加工業などあらゆる業種にわたる中小企業の業況悪化が地域経済に深刻な影響を及ぼしており、消費税増税や電気代値上等の影響が見られるものもあり、この状況が長期化、深刻化することが懸念されております。

このような状況に鑑み、市内中小企業の実態を把握し、今後の地域経済活性化事業に関する検討材料とすることを目的とする。

## ●調査実施期間

平成27年8月7日～8月31日

## ●調査方法

設問は留萌市が作成し、留萌商工会議所が会員事業所620事業所へ調査票を郵送し、回答は返信封筒で返信していただいた。

配布枚数 620枚      回答数 164枚      回収率 26.5%

## 調査結果概要

今回で6年目となる本調査は、毎年多くの会員事業所の特段のご協力により実施できたことに先ずもって感謝したい。

結果概要は、問Ⅱ道内全体の景況感について、1) 全道の景況感では④悪い⑤大変悪いの合計が49.7%で昨年の35.8%より大幅に増えた。同じく2) 今後の利益見通しについても、④悪くなる⑤大変悪くなるの合計が56.1%で昨年の35.8%を大幅に上回り、昨年若干明るい兆しが見えかけた景況感が、今回大幅に悪化している結果となった。

問Ⅲ貴社の業績動向については、1) 売上げ前年対比で、④悪い⑤大変悪いの合計が48.8%で昨年の34.2%より大幅に落ち込んでおり、業種もほぼ全業種に及んでいる。その要因のトップは昨年と同じく④個人消費の減少29.7%だが、⑥官公庁の発注減が20%と昨年の8.8%から大幅に増加した点が目立った。同じく5) 今後の利益見通しについても、④やや減少⑤大幅減の合計が54.9%で昨年の46.7%を上回り、先行き悪化を懸念する企業が増えている。また6) 景気回復時期も⑤不明が89.1%で先行き不透明感が圧倒し、昨年同様回復の道筋が見えない状況となっている。

問Ⅳ経営実態では、1) 資金繰りについては、⑤厳しいが若干増えたが、ほぼ横ばい状態。4) 従業員数については、①不足が昨年とほぼ同じ28.6%で業種別では運送業、製造業、サービス業で不足感が強かった。また、5) 従業員の雇用予定では、初めて過半数を超え56.3%となり採用意欲が強まっており、特に建設業、製造業、サービス業でポイントが高かった。6) 設備投資についても、①不足が昨年より4.6ポイント高い15.6%で昨年につづきやや上向き状態が続いている。また、7) 今後の設備投資予定でも、①あるが昨年より16.7ポイント高い38.9%で設備投資には明るさも見える。業種別では、運送業、サービス業が高かった。8) 先行きにおける懸念材料では、昨年と同じ①景気対策の動向28.1%②個人消費の動向27.8%が上位で変わらなかったが、今回⑤公共投資の動向が15.4%で三番目に上がったのが特徴となった。

以上のことから、留萌市の経済は、全国的なアベノミクス効果による影響は軽微なものに止まり、他の地方都市と同じく人口減少による地域経済の衰退が顕著となっており、公共事業に頼る従来の経済構造が依然と続いている。

今後の対応として、バイ留萌運動のようなお金が地域で循環する仕組みを早急にする必要があり、その為には人口の減少を食い止める必要があり、簡単では無いが企業誘致などで、若者が就職できる雇用機会の拡大を早急に図らなくてはならない。国をはじめとする行政の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に期待するところだが、また、行政と共に商工会議所の役割も今後ますます重くなると言えよう。

## I 貴社の業種について

### ① 回答事業所の業種及び回答数

建設業	35 枚
製造業	18 枚
運輸業	14 枚
卸・小売業	44 枚
飲食・サービス業	36 枚
その他	17 枚
合計	164 枚

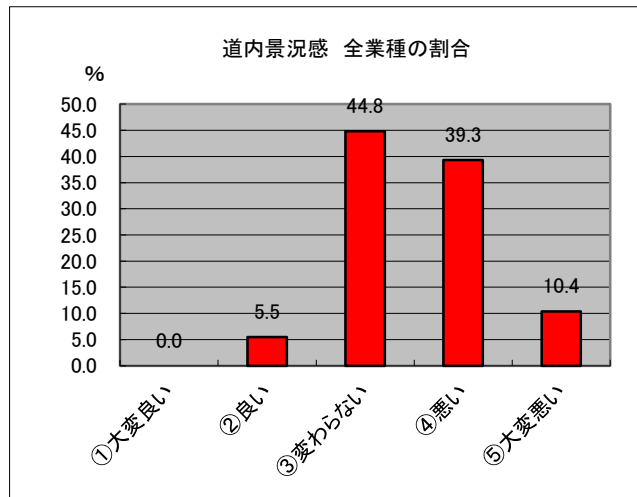
### ② 貴社の従業員数を教えてください 業種ごとの合計数

	従業員数	内正社員	正社員の割合
建設業	613	430	70.1 %
製造業	250	124	49.6 %
運輸業	461	322	69.8 %
卸・小売業	614	145	23.6 %
飲食・サービス業	556	253	45.5 %
その他	355	309	87.0 %
合計	2,849	1,583	55.6 %

## Ⅱ 道内全体の景況感について

### 1) 前年と比較した道内全体の景況について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	0	0	0	0	0	0	0	0.0
②良い	1	0	2	2	4	0	9	5.5
③変わらない	16	7	3	16	16	15	73	44.8
④悪い	16	9	8	16	14	1	64	39.3
⑤大変悪い	2	2	1	9	2	1	17	10.4
							163	100.0

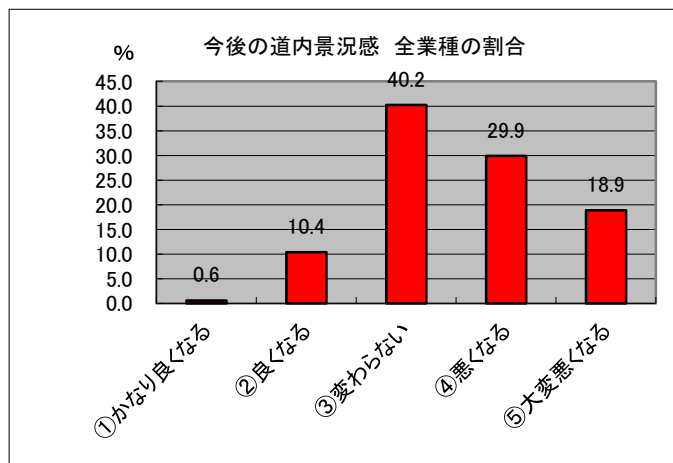


◎前年と比較した道内全体の景況について左のグラフの全業種で見ると③変わらないが44.8%で昨年と同じく一番、続いて④悪い39.3%、⑤大変悪い10.4%、②良い5.5%の順となっている。昨年と比べて②良いと③変わらないが減少し、④悪い⑤大変悪いが大幅に増えた。

業種別で見ても、全ての業種で④悪い⑤大変悪いが増加した。

### 2) 今後の利益見通しについて伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①かなり良くなる	0	0	0	1	0	0	1	0.6
②良くなる	1	1	3	3	7	2	17	10.4
③変わらない	10	9	6	13	16	12	66	40.2
④悪くなる	15	6	3	12	10	3	49	29.9
⑤大変悪くなる	9	2	2	15	3	0	31	18.9
							164	100.0



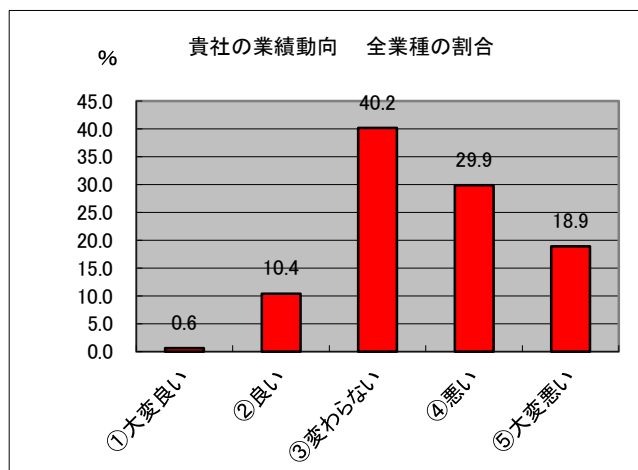
◎左のグラフは今後の利益見通しについて尋ねたものだが上記(1)の傾向と同様に①かなり良くなる②良くなるが昨年より若干増加し、④悪くなるが10.5ポイント減少、しかし⑤大変悪くなるが昨年より16.1ポイントの大幅増加となり、現状より更に悪化するとの見通しが増えた。業種別では、この傾向が建設業と卸・小売業に顕著となった。

### Ⅲ 貴社の業績動向について

1) 前年と比較した売上げ高(又は販売数量)について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大変良い	0	0	0	1	0	0	1	0.6
②良い	1	1	3	3	7	2	17	10.4
③変わらない	10	9	6	13	16	12	66	40.2
④悪い	15	6	3	12	10	3	49	29.9
⑤大変悪い	9	2	2	15	3	0	31	18.9

164 100.0

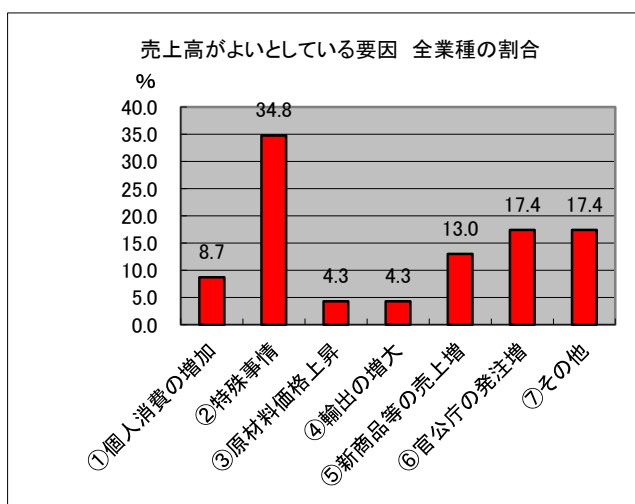


◎前年と比較した売上げ高について尋ねたものだが③変わらないが昨年より13.5ポイント減少の40.2%、⑤大変悪いが昨年より14.3ポイント増加の18.9%となった。  
業種別でも建設業と卸・小売業の落ち込みが顕著となっている。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が良いとしている要因はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の増加	0	0	1	0	1	0	2	8.7
②特殊事情	1	1	3	2	1	0	8	34.8
③原材料価格上昇	0	1	0	0	0	0	1	4.3
④輸出の増大	0	0	0	0	0	1	1	4.3
⑤新商品等の売上増	0	0	0	1	1	1	3	13.0
⑥官公庁の発注増	0	0	0	1	3	0	4	17.4
⑦その他	0	0	0	0	2	2	4	17.4

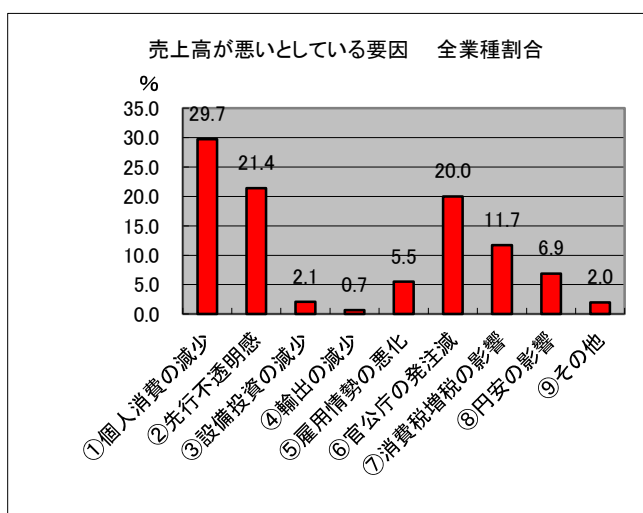
23 99.9



◎上記1)の設問で①大変良い、②良いと回答した事業所で、良いとしている要因は回答数が少ないものの、②特殊事情34.8%⑥官公庁の発注増17.4%⑦その他17.4%⑤新商品等の売上増13.0%の順になっている。

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。売上げ高(又は販売数量)が悪いと  
している要因はどのようなことですか。(複数回答可)

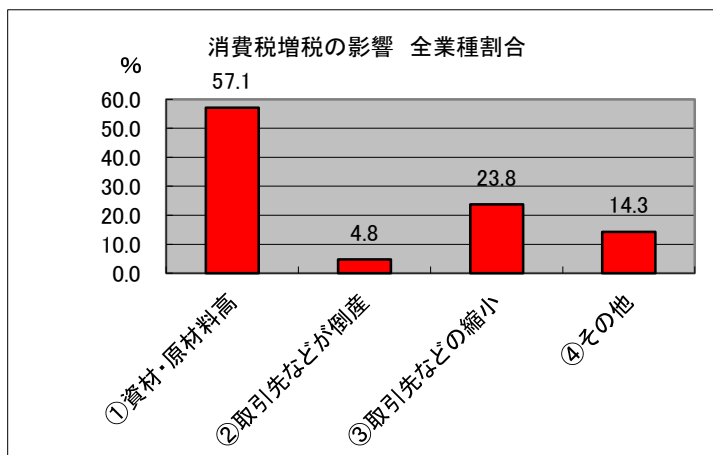
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①個人消費の減少	7	3	2	19	10	2	43	29.7
②先行不透明感	10	2	1	8	9	1	31	21.4
③設備投資の減少	2	0	0	1	0	0	3	2.1
④輸出の減少	0	0	0	0	0	1	1	0.7
⑤雇用情勢の悪化	0	0	1	4	1	2	8	5.5
⑥官公庁の発注減	13	3	4	8	1	0	29	20.0
⑦消費税増税の影響	2	2	1	7	4	1	17	11.7
⑧円安の影響	1	1	0	4	3	1	10	6.9
⑨その他	0	0	0	1	1	1	3	2.0



145 100.0  
 ◎1)で④悪い、⑤大変悪いと回答した事業所でその要因としては、全業種で見ると、①個人消費の減少29.7%②先行不透明感21.4%、⑥官公庁の発注減20.0%、⑦消費税増税の影響11.7%の順になっている。特に⑥官公庁の発注減が昨年より11.2ポイントと大幅に増加、業種では建設業が顕著となった。

4) 3)で⑦を選択した方に伺います。具体的にどのような影響がありましたか。該当するものに○をつけてください。

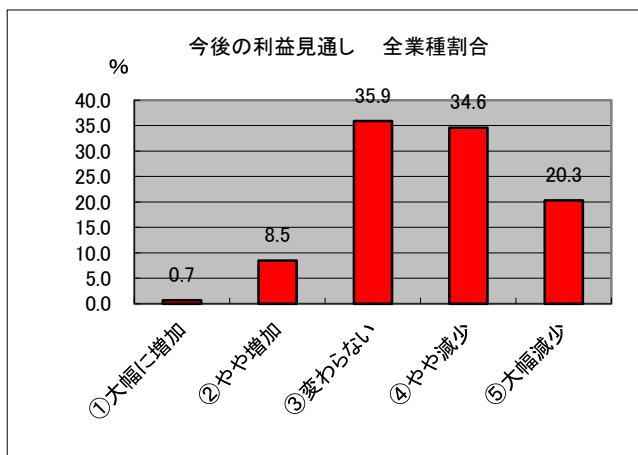
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①資材・原材料高	2	2	0	2	4	2	12	57.1
②取引先などが倒産	0	0	0	0	1	0	1	4.8
③取引先などの縮小	0	0	0	2	2	1	5	23.8
④その他	0	0	1	1	0	1	3	14.3



21 100.0  
 ◎3)で⑦消費税増税の影響と回答した事業所は、①資材・原材料高57.1%、③取引先などの縮小23.8%、④その他14.3%の順となり、光熱費等を含めた資材・原材料高の影響が大きかったと思われる。

5) 今後の利益見通しについて伺います。

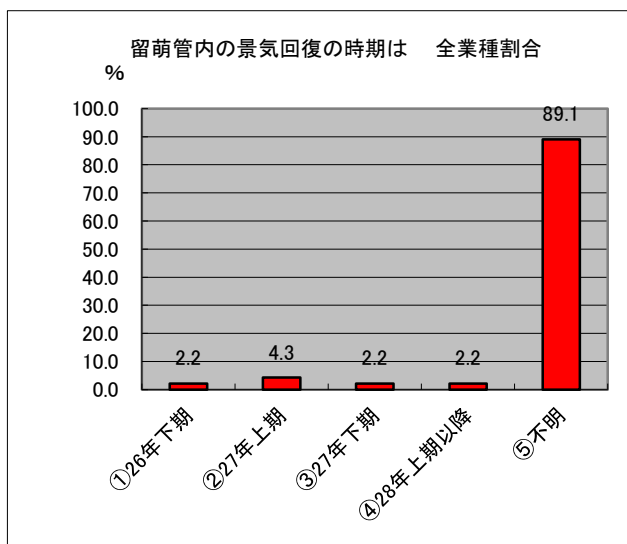
	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①大幅に増加	0	0	0	0	0	1	1	0.7
②やや増加	1	2	2	2	5	1	13	8.5
③変わらない	8	5	6	13	12	11	55	35.9
④やや減少	14	7	3	14	12	3	53	34.6
⑤大幅減少	9	2	3	11	6	0	31	20.3



◎今後の利益見通しについての設問だが③変わらない④やや減少⑤大幅減少の順となり、道内の景況感と同じく⑤大幅減少が昨年より9.1ポイント増加し、先行き見通しの悪化を懸念している。業種別では、建設業、卸・小売業、サービス業が先行き悪化を懸念する事業所が増えている。

6) 5)で④か⑤を選択した方に伺います。留萌管内の景気回復の時期はいつ頃だとお考えですか。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①26年下期	0	0	0	0	2	0	2	2.2
②27年上期	2	0	0	2	0	0	4	4.3
③27年下期	0	1	0	1	0	0	2	2.2
④28年上期以降	0	0	0	2	0	0	2	2.2
⑤不明	22	9	9	23	17	3	83	89.1



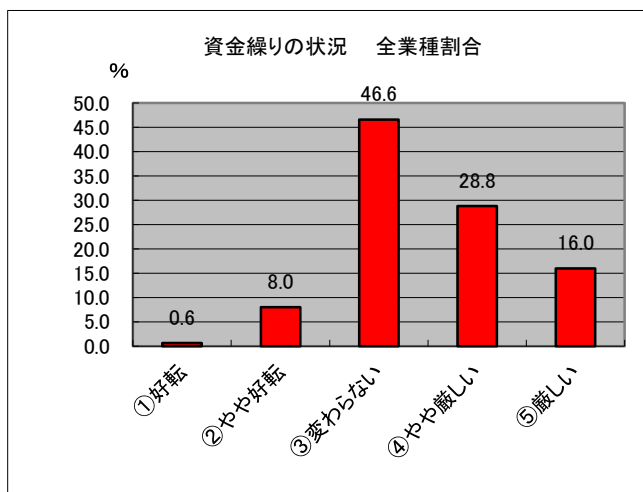
◎5)で、④やや減少⑤大幅減少を選択した方に聞いたもので、景気回復は何時になるか、との設問だが⑤不明が89.1%で、昨年より8.7ポイント増加し、長引く不況がいつ回復するか見通せない状況はより強まってきている。

#### IV 貴社の経営実態について

1) 前年と比較した資金繰りの状況について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①好転	0	0	0	0	0	1	1	0.6
②やや好転	0	2	3	2	4	2	13	8.0
③変わらない	18	7	5	18	18	10	76	46.6
④やや厳しい	10	6	4	15	10	2	47	28.8
⑤厳しい	7	3	2	8	4	2	26	16.0

163 100.0

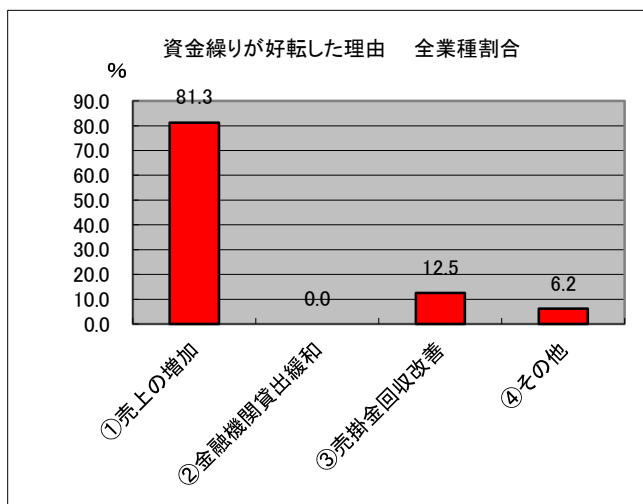


◎前年と比較した資金繰りの状況だが④やや厳しいと⑤厳しいで44.8%を占め、昨年より11.4ポイントも増加し、資金繰りが厳しい企業が2社に1社となっている。

2) 1)で①か②を選択した方に伺います。資金繰りが好転した理由はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の増加	0	2	3	2	3	3	13	81.3
②金融機関貸出緩和	0	0	0	0	0	0	0	0.0
③売掛金回収改善	0	0	0	0	2	0	2	12.5
④その他	0	0	0	0	0	1	1	6.2

16 100.0

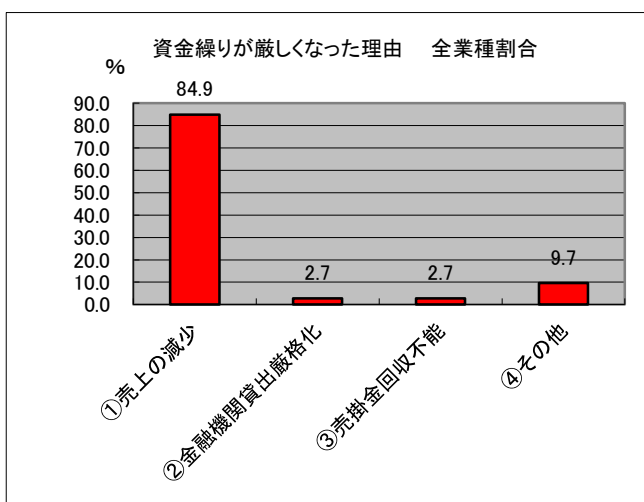


◎(1)で①好転②やや好転を選んだ事業所が資金繰りが好転した理由を回答したものが①売上の増加が81.3%で、やはり売上頼みの傾向が続く。

3) 1)で④か⑤を選択した方に伺います。資金繰りが厳しくなった理由はどのようなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①売上の減少	15	7	4	21	12	3	62	84.9
②金融機関貸出厳格化	1	1	0	0	0	0	2	2.7
③売掛金回収不能	0	0	0	1	1	0	2	2.7
④その他	1	1	2	1	0	2	7	9.7

73 100.0

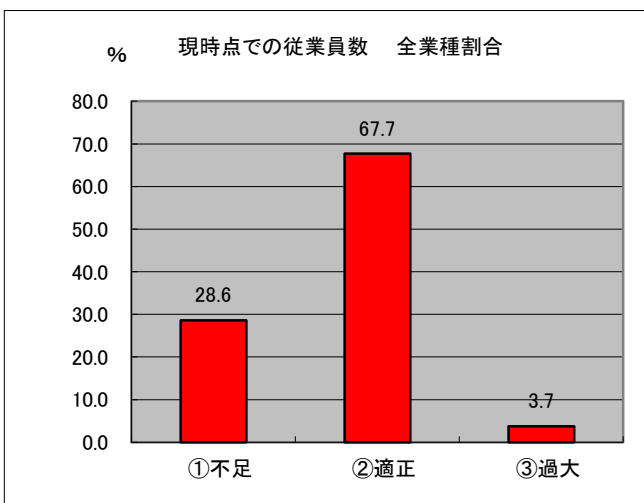


◎資金繰りが悪くなった理由だが売上げの減少が84.9%と、全業種で原因のトップとなっている。

4) 現時点での従業員数について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	7	8	7	10	12	2	46	28.6
②適正	26	10	6	30	22	15	109	67.7
③過大	2	0	1	1	2	0	6	3.7

161 100.0



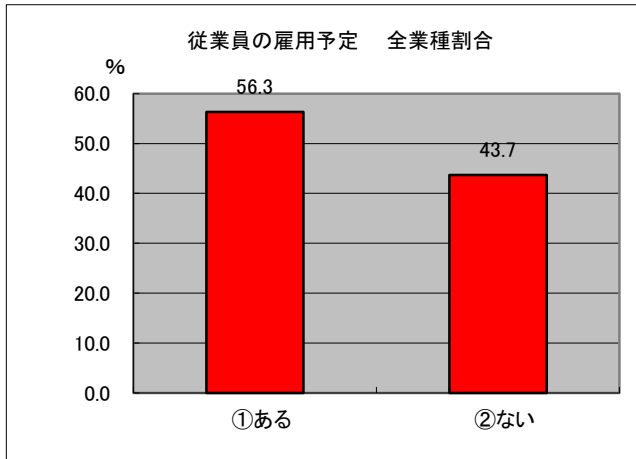
◎現時点での従業員数については②適正が67.7%①不足は28.6%③過大が3.7%で昨年とほぼ同じだった。業種別では、運送業、製造業、サービス業の順で不足感が強かった。



5) 4)で①を選択した方に伺います。今後、従業員を雇用する予定はありますか

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	5	4	9	6	10	2	36	56.3
②ない	3	9	0	4	8	4	28	43.7

64 100.0

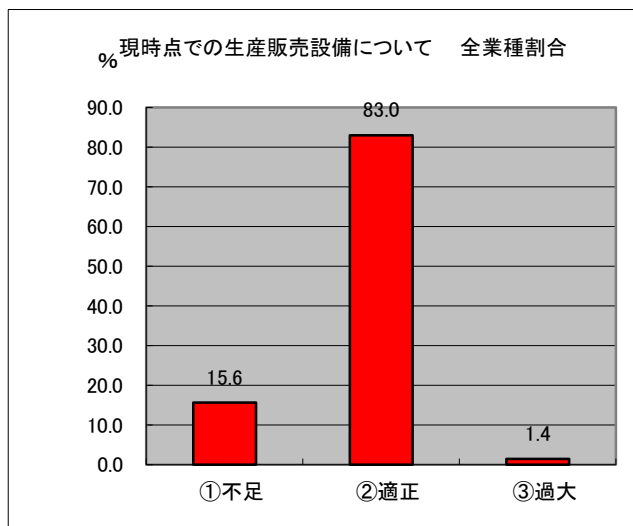


◎(4)で①不足と回答した事業所のうち従業員を雇用する予定①あるが56.3%で、昨年より7.3ポイント増加し、採用意欲は増加している。業種別では、運輸業、サービス業、建設業、卸・小売業で採用意欲が高くなっている。

6)現時点での生産販売設備について伺います。

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①不足	2	4	4	2	8	2	22	15.6
②適正	29	13	5	31	25	14	117	83.0
③過大	0	1	1	0	0	0	2	1.4

141 100.0

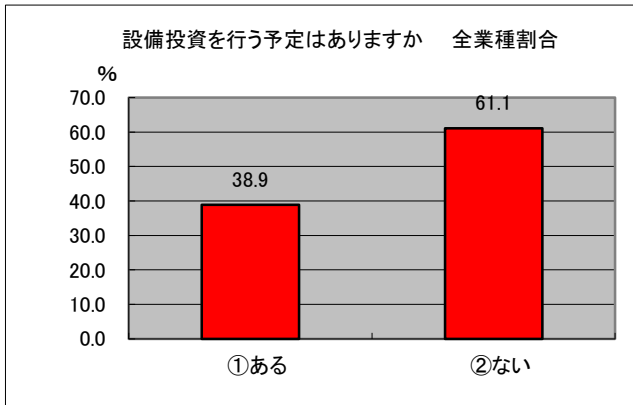


◎現時点での生産設備については①不足が15.6%で昨年より4.5ポイント増し、②適正83.0%、③過大1.4%で昨年より若干減少している。

7)6)で①を選択した方に伺います。今後、設備投資を行う予定はありますか？

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①ある	0	1	4	1	5	3	14	38.9
②ない	6	5	1	2	6	2	22	61.1

36 100.0

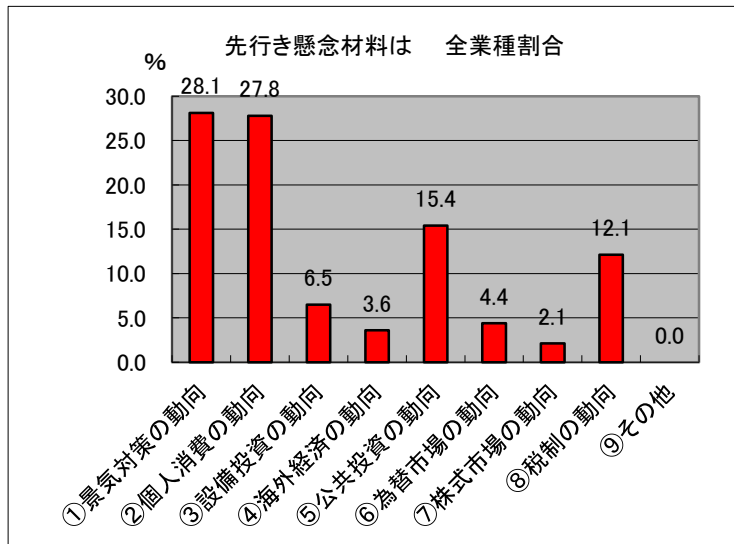


◎(6)で①不足と回答した事業所のうち今後設備投資を行う予定①あるが38.9%、②ないが61.1%で、昨年より設備投資意欲は16.7ポイント増加した。

8)先行き(2～3ヶ月先)における懸念材料はどんなことですか。(複数回答可)

	1	2	3	4	5	6	A	
	建設業	製造業	運輸業	卸・小売業	飲食・サービス業	その他	全業種(合計)	全業種割合
①景気対策の動向	19	10	8	28	21	9	95	28.1
②個人消費の動向	12	12	6	33	22	9	94	27.8
③設備投資の動向	4	1	4	5	6	2	22	6.5
④海外経済の動向	2	1	1	2	5	1	12	3.6
⑤公共投資の動向	20	4	6	9	8	5	52	15.4
⑥為替市場の動向	2	2	0	6	1	4	15	4.4
⑦株式市場の動向	0	0	0	1	4	2	7	2.1
⑧税制の動向	7	4	4	9	14	3	41	12.1
⑨その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0

338 100.0



◎先行き懸念材料についての設問だが、①景気対策の動向28.1%②個人消費の動向27.8%⑤公共投資の動向15.4%⑧税制の動向12.1%の順になっている。昨年とほぼ同じだが、公共投資の動向が昨年より順位を上げ、やはり地方にとって公共事業頼みがうかがえる。

## 文章回答

### Ⅲ-2 ⑧その他

- ・本州の需要も取り込んでいる為、又、経産省の優遇税制効果で設備投資を積極的に行う取引先が数件(ここ1~2年)有る為、これは機械販売に良い結果として出ている。
- ・インターネットを通して。 ・営業努力による売上増加。

### Ⅲ-3 ⑧その他

- ・人口の減少。4 ・高齢化。 ・競争の激化。
- ・原材料高騰、資材値上がり。 ・商品安で悪化。
- ・運賃(料金)の値上げを実施(せざるをえない)後「乗り控え」顕著。

### Ⅲ-4 ④その他

- ・買い控え。 ・商品安、一言で20年前の価格より60%以上、値は安い。

### Ⅳ-2 ④その他 ナシ

### Ⅳ-3 ④その他

- ・原材料、資材の高騰。 ・ずっと厳しい為。 ・高齢者の増加。
- ・最低賃金の引き上げによる人件費の高騰(実態に反していると思う)。
- ・税金類の支払いが負担になっている。 ・商品の売値安。
- ・経営経費の増加による利益率の減少。 ・仕入原料の値上がり。
- ・人口及び世帯数の減少による売上の減少傾向。2

### Ⅳ-8 ⑨その他

- ・人件費の高騰、地域較差のの拡大。
- ・特に道内の公的投資の動向や機械(中古)の輸出先である中東や東南アジアの先行きが、不安材料で有ると同時に新規採用する人材の確保。

### Ⅳ-9 不況下における事業展開の取り組み

- ・企業イメージのアップ、営業コスト削減の両立は難しいが必要な設備投資は規模を縮小しながらも推進する。 ・まずは人口増加の方から対策考慮です。
- ・品質の向上。 ・廃業時期模索中。 ・留萌市は無いと思います。
- ・仕入価格見直し交渉。 ・優良企業からの受注拡大。 ・諦めムードですよ。
- ・人件費抑制の為、高齢者の雇用。 ・人口減少への取組を期待します。
- ・当社も景気対策はして居りますが良くなる事を願ってます。
- ・環境変化に対応した、商品、サービスの工夫。
- ・将来性のある物に対して積極的に設備投資を行う。 ・もっぱら経費削減。
- ・様々な分野の生産者をより、宣伝広告して地域の活性化を行う。
- ・プレミアム商品券はとても良いので販売促進をお願いしたい。
- ・自己努力もありますが経費及び税金に追われ非常に厳しい状況にあります、市も外部からの収入(ふるさと納税など)により市民が楽に暮らせる環境を作る、それにより、経済の循環ができるしくみを考えて下さい。 ・人材育成を行い、来たる時期に備える。
- ・消費税がアップし、同時に物価が上がり、商店にとってマイナス要因が多すぎる為、今以上の売上アップを期待するのは殆んど不可能に近い。これで消費税が10%になったら消費は更に冷え込み、廃業を余儀なくされる店が続出する可能性大である。
- ・留萌管内に拘ることなく、営業を広域的に行い、当社の得意な分野のアピールを積極的に行い、新たな商品の発掘に努める、発信力の強化。
- ・平成26年度だけは官公庁の発注が増額になったがそれ以降は大幅に減っている、今後も期待できない。
- ・私共の不況は商品安一言です、良い品種はホタテ、ナマコで最近ではヒラメ、マガレイ、砂ガレイ等は

60%以上安く、経費と同じである、TPPの以前の魚の自由化は15年間続いている、今後も変わらないだろう。韓国、台湾、中国等が魚をたくさん食べれば値も上がると思います、そんな時が来るだろうか。

・一生懸命、全員(社員)でがんばるしかない。

- ・極力経費、設備投資を控える位しか出来ない。
- ・市場を拡大していなければ、売上げ増強できない、確実に大きくしていく手法が問題となる。

## V 今後の景気状況に対するビジョン等がありましたらお書きください。

- ・国は景気が良いと言っていますが、ウソばかりです。
- ・留萌JCの「音楽合宿のマチ」政策には期待している、お手伝いしたい。
- ・留萌管内の風力発電(SBエネルギー)、送電網(日本送電)の実施に期待しているが、留萌市としての直接的参画が希薄で残念。
- ・各種学校(看護、介護、水産、食、、、等々)の誘致、建設を望む。
- ・空店舗、空家の利活用を促進すべき。
- ・中古機械の輸出に関しては海外の需要が弱くなってしまっているのが成り行きに任せるしかないが国内では五輪需要や新幹線、又は東北大震災需要もかなり残っているので取り込みに努力する。
- ・若い世代及び、転入者への税制緩和等、大胆な改革を期待します。
- ・船場公園、ふるものような公共施設をもっと整備して道内外から人の流動を活性化して欲しい。一部、東京オリンピック開催に合わせた動向にも注視したい。
- ・これからの物販は非常に厳しい、自店でITによる販売を考えるか、隙間に徹したサービスを考えるか、技術のスキルを活かしたサービスを考えるか、この様な状況の時こそ、商工会議所が真剣に個々の事業所と向き合って活路を見出す時です。
- ・留萌は官公庁が大変多いまちです、官公庁の需要がもう少し地元購入(物品販売)がアップしてくれると(特に道、国関係)。
- ・あらゆる業界に於ける、募占化、独占化がもたらす貧富の格差拡大が地域の格差拡大に直結しており、一方で成功報酬と言う名目で数十億の金を得るやからがいると思えば他方では生活保護費で細々と生を繋いでいる貧民が圧倒的に多くいる、一人勝ちを許さず、多様性豊かな社会への転換を図らない限り、北辺の村や町が豊かになってゆく構図は考えにくいのだが。
- ・まったく有りません、若い世代が今後どう対処するのか、ここにかかると思われる。
- ・景気が上昇する気があまりしない、人口減、増毛線の廃止による観光客の入込み減等、正直良くなる気がしない。少々変わりますがゴールデンビーチの花火は効果ありますか？花火を見たくて海水浴に来る人は少ないと思いますが、どんとう祭りも留萌祭りから一週間もたたないうちに開催しても(自衛隊の関わりもあると思いますが)もう少し留萌市内(増毛、小平共に)での消費に繋がるようなイベントでも考えた方が良いと思う。
- ・地方市場にどう食い込むか、大型企業に対抗できる商品を開発出来るかにかかっていると思う。
- ・内外の動向を見ながらやって行きます。

以上

